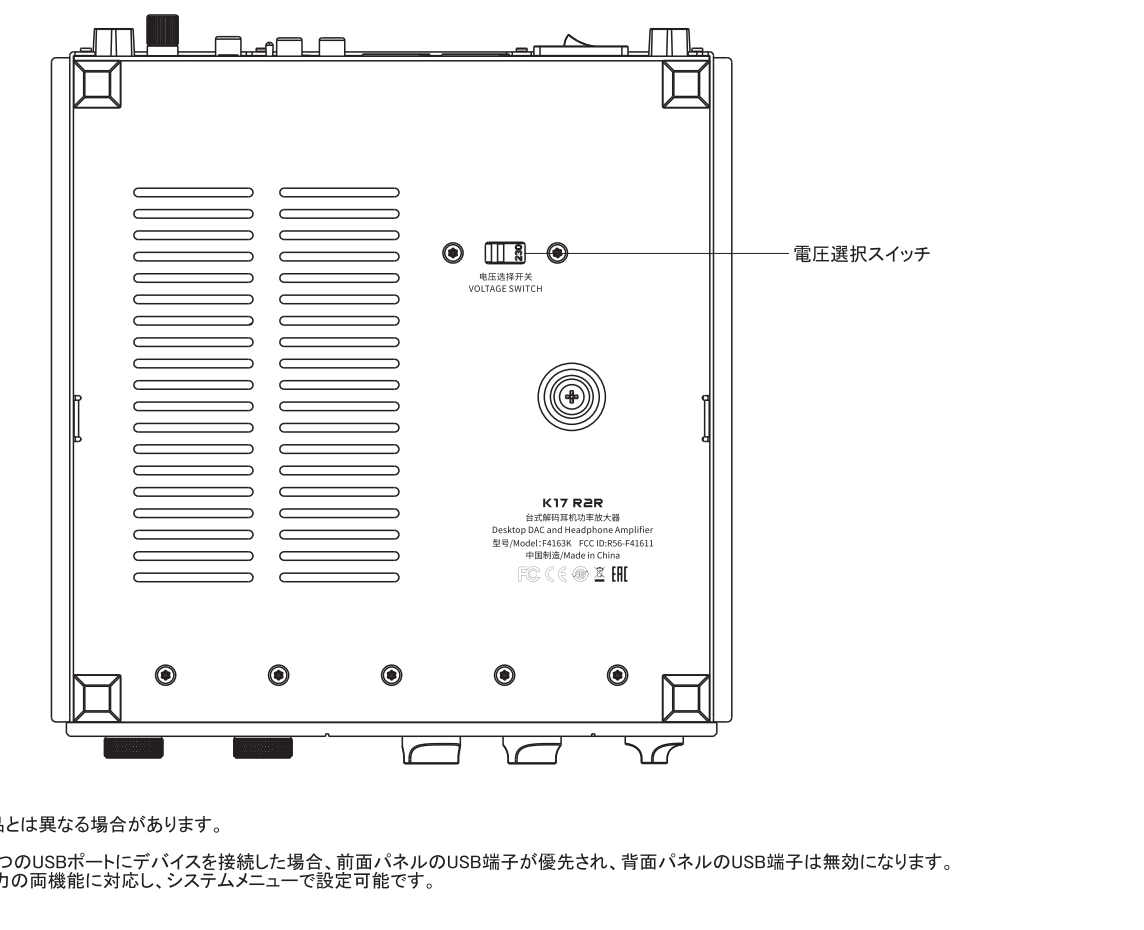
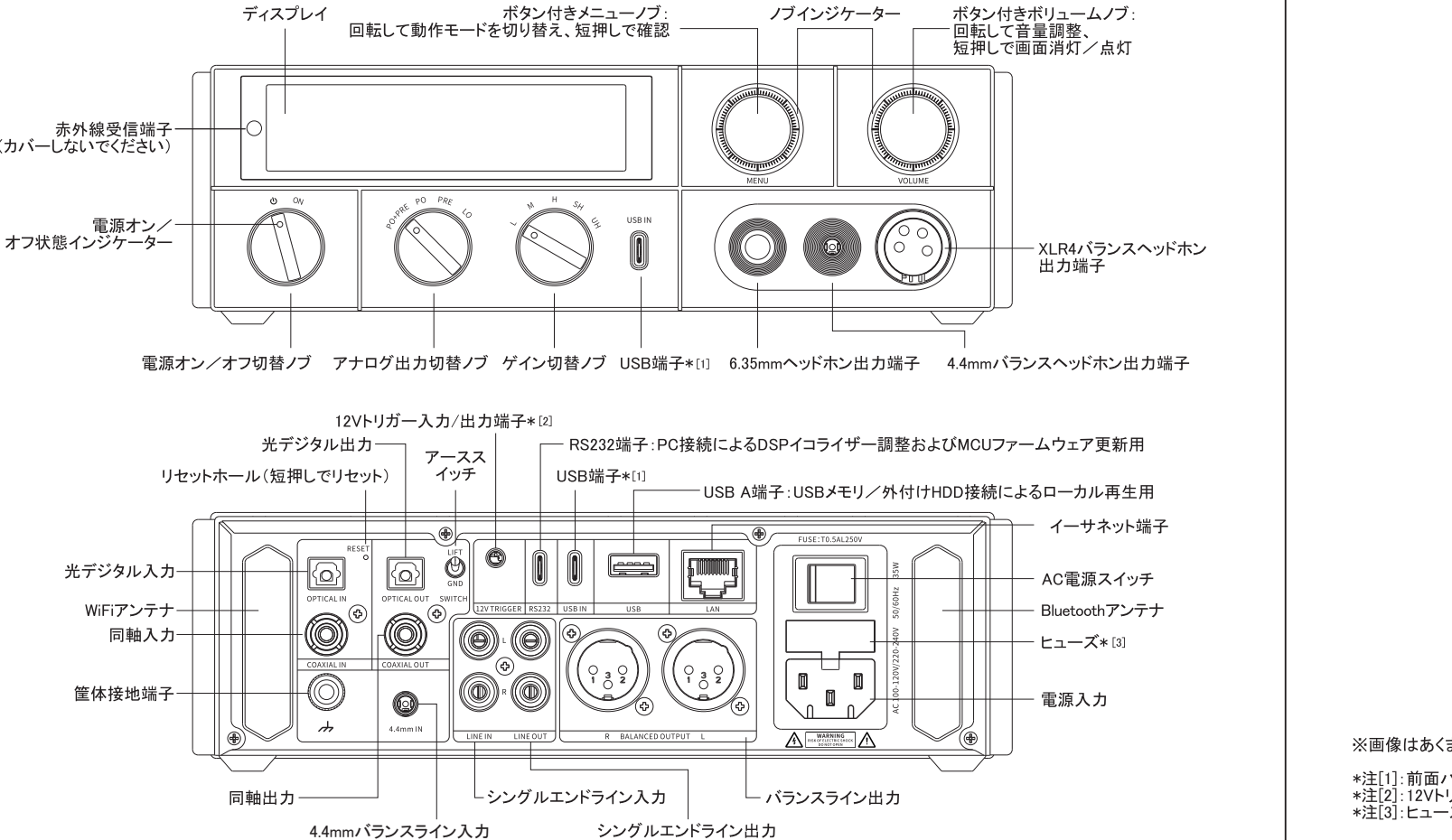


各部の機能と外観



※画像はあくまで参考で、実際の製品とは異なる場合があります。

*注[1]：前面パネルと背面パネルの2つのUSBポートにデバイスを接続した場合、前面パネルのUSB端子が優先され、背面パネルのUSB端子は無効になります。

*注[2]：12Vトリガー端子は入力／出力の両機能に対応し、システムメニューで設定可能です。

*注[3]：ヒューズ仕様：250V 0.5A。

操作説明

電源オン／オフ

必ず本体底部の電圧切替スイッチが使用地域の電圧に適合していることを確認し、電源ケーブルを接続してください。その後、本体背面の電源スイッチを入れ、前面の電源ノブを「ON」に切り替えると、K17 R2Rが起動します。K17 R2Rが起動状態の場合、赤外線リモコンまたは12Vトリガー入力により、K17 R2Rを待機／起動状態に切り替えることができます。本体前面の電源ノブを「OFF」に設定すると、K17 R2Rは自動的に電源が切れ、この状態ではリモコンまたは12Vトリガー入力による起動操作はできません。

注：12Vトリガー入力を使用するには、設定メニューでTrigger機能を「IN」に設定する必要があります。

ボリュームノブ

K17 R2Rの電源を入れた後、ノブを回すことで音量を調整できます。ボリュームノブを短押しすると、画面の消灯／点灯を切り替えることができます。また、システム設定により、短押し操作をミュート／ミュート解除機能に変更することも可能です。

メニューノブ

メニューノブを回すことで、異なる動作モードを選択できます。短押しで確定するか、または3秒待つとシステムが自動的に動作モードを切り替えます。

ジェスチャー操作

ディスプレイのメイン画面において、左にスワイプ／右にスワイプすることで設定メニュー画面または動作モード画面に切り替えることができます。上下にスワイプすることで、VUメーター表示など異なるスタイルのメイン画面に切り替えることができます。

- 動作モード
- K17 R2Rには以下の8種類の動作モードがあります。
- USB：USBデコードモード、スマートフォンやPCと接続してデコード可能です。K17 R2Rの前面パネルと背面パネルの2つのUSBポートにデバイスを接続した場合、前面パネルのUSB端子が優先され、背面パネルのUSB端子は無効になります。スマートフォンを接続してデコードする場合、K17 R2Rはスマートフォンの電力を消費しません。
(注：Windows システム搭載のパソコンをUSB デコードモードに接続する際は、公式サイトからUSB DAC ドライバーをダウンロードし、対応するチュートリアルに従ってドライバーをインストールする必要があります。ダウンロードアドレス：http://www.fiio.com/Driver_Download、OSXシステムは、このドライバーをインストールする必要はない)
 - 光デジタル：光デジタルデコードモード、光デジタルオーディオ出力デバイスと接続してデコード可能です。
 - 同軸：同軸デコードモード、同軸出力デバイスと接続してデコード可能です。
 - ライン入力：シングルエンドライン入力モード、前段に接続した機器からのアナログ信号をK17 R2R背面のLINE IN端子に接続し、K17 R2Rで増幅処理を行います。
 - バランス入力：バランスライン入力モード、アナログ信号をK17 R2R背面の4.4mm IN端子に接続し、K17 R2Rで増幅処理を行います。
 - Bluetooth：Bluetoothデコードモード、Bluetooth オーディオ出力に対応するデバイスと接続してデコード可能です。初めてBluetooth受信モードに切り替えると、K17 R2Rは自動的にペアリング状態になります。この時、K17 R2Rのディスプレイには「ペアリング中…」と表示されます。次回以降Bluetooth受信モードに入ると、自動的に前回接続したデバイスに再接続します。
(注：K17 R2RのBluetoothはオーディオ再生のみをサポートし、通話機能には対応していません)

- ストリーミング：ストリーミング受信モード、K17 R2Rをネットワークに接続すると、同一LAN内のデバイスからAirPlayまたはRoon (Roon Ready) 経由で音楽を再生できます。
- ローカル再生：ローカル再生モード、USBメモリをK17 R2R背面のUSB A端子に接続すると、メモリ内の楽曲をスキャンして再生できます。また、スマートフォンにFIIO Controlアプリをインストールすることで、再生操作をより便利に行うことができます。

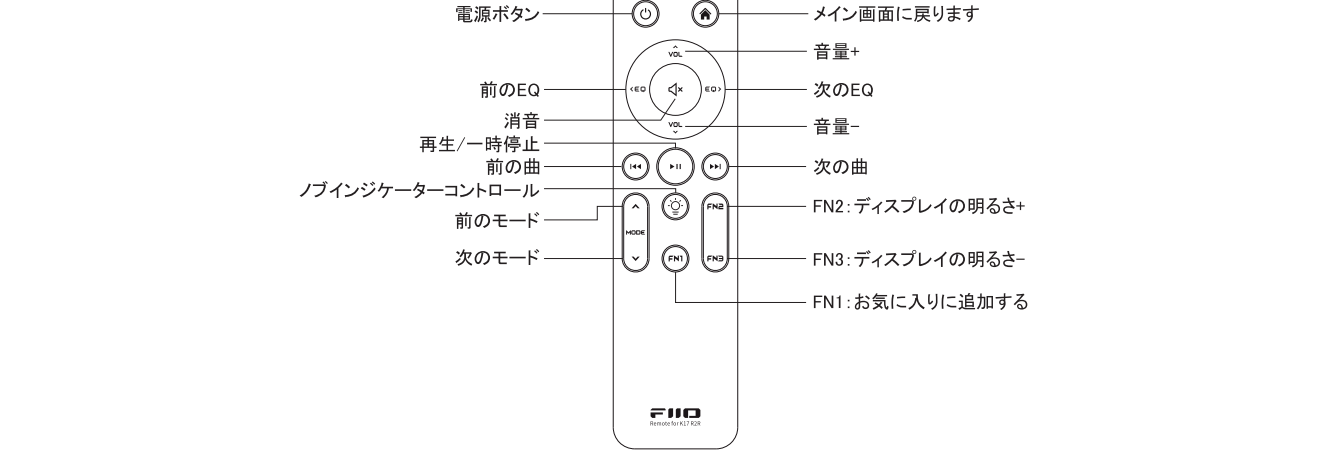
DSPイコライザーの概要

K17 R2Rのすべての動作モードは、DSPイコライザーの調整機能に対応しています。PCまたはスマートフォンからイコライザーを調整可能です。PCでイコライザーを使用する場合は、背面のRS232と表記されたUSB-C端子にUSBケーブルで接続してください。Windowsの場合は、リンク http://www.fiio.com/Driver_Download からイコライザーソフトウェアをダウンロードし、ソフトを起動することで使用できます。macOSの場合は、App Storeで「FIIO DSP」を検索してダウンロードすることで使用できます。スマートフォンでイコライザーを使用する場合は、FIIO ControlアプリのQRコードをスキャンして対応するアプリをダウンロードし、使用してください。また、ブラウザで<https://fiiocontrol.fiio.com/>にアクセスし、ウェブ版イコライザー調整機能を利用することも可能です。ウェブ版イコライザーは自動EQ機能に対応しており、異なるヘッドホンの音質をシミュレートできるほか、EQパラメータの設定もより迅速かつ便利に行えます。

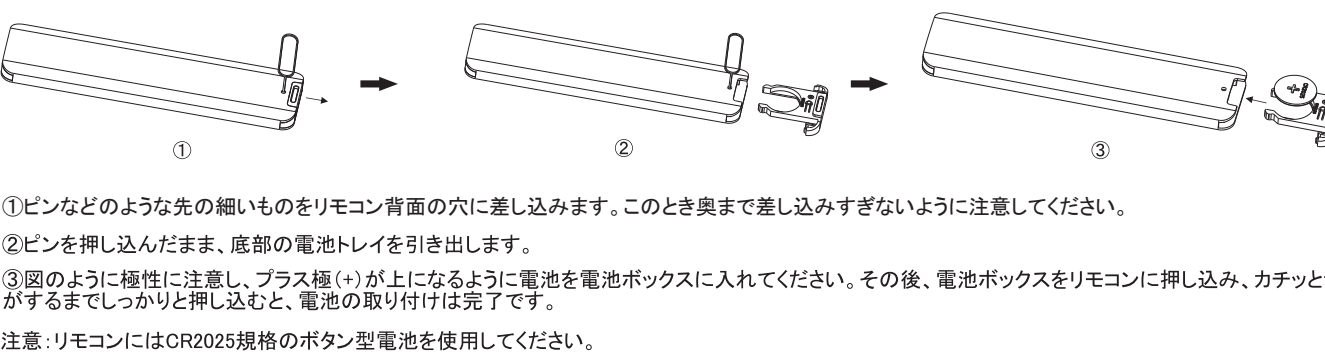
12V トリガー端子の紹介

Trigger端子を搭載した機器を2台以上接続すると、機器の電源オン／オフを連動させることができます。3.5mmケーブル(トリガー接続用)を使用してK17 R2Rの Trigger端子に接続し、設定メニューでTrigger機能を「IN」に設定すると、前段に接続した機器からK17 R2Rの電源オン／オフを制御できます。設定メニューでTrigger 機能を「OUT」に設定した場合は、K17 R2Rから他の機器の電源オン／オフを連動制御することができます。注：K17 R2RのTrigger機能を使用するには、正常に給電されており、かつ前面パネルの電源切替ノブが「ON」に設定されている必要があります。

赤外線リモコンの説明



リモコン電池取り付け方法



- 注意事項
- ★ 電池を飲み込まないでください。化学やけどの危険があります。
 - ★ この製品のリモコンにはボタン電池が含まれています。ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に重度の内部火傷を引き起こし、死に至る可能性があります。
 - ★ 新しい電池と使用済みの電池は、子供の手の届かない場所に保管してください。使用済みの電池でも、重傷や死亡を引き起こす可能性があります。
 - ★ 電池ボックスが安全に閉まらない場合は、製品の使用を中止し、電池を取り出して子供の手の届かないところに置いてください。
 - ★ 電池を飲み込んだり、身体へのどの部分にでも入れたと思われる場合は、すぐに地域の中毒管理センターまたは医療機関に助けを求めてください。
 - ★ 使用済みの電池は、地域の規制に従って直ちにリサイクルまたは廃棄し、子供の手の届かない場所に保管してください。電池を一般ゴミと一緒に捨てたり、焼却したりしないでください。
 - ★ 電池は充電しないでください。強制的な充電、放電、分解、メーカーが指定した温度以上への加熱、または焼却を行わないでください。そうしないと、圧力放出、漏洩、または爆発により、化学やけどを引き起こす可能性があります。
 - ★ 正しいタイプの電池を選択してください。古い電池と新しい電池、異なるブランド、または異なるタイプの電池を混用しないでください。
 - ★ 誤ったモデルの電池と交換すると、火災や爆発の危険があります。
 - ★ 電池は極性(+/-)に従って正しく取り付けください。
 - ★ 長期間使用しない場合は、電池を取り出し、地域の規制に従って廃棄してください。
 - ★ 適用電池：CR2025、電池電圧3V。
 - ★ システムに異常が発生した場合、再起動するか電源プラグを抜き差しすることで正常に動作することができます。
 - ★ 瞬間的に大きな衝撃音が発生し、聴力に損傷を与える可能性を防ぐため、ヘッドホン抜き差しする前にヘッドホンを装着しないことをお勧めします。
 - ★ 正しい入力電圧でご使用ください。
 - ★ 本製品は保護接地された電源コンセントに接続してください。
 - ★ 本体内部は高電圧の危険があります。ご自分で製品の修理や分解はしないでください。また、水のかかる場所に置かないでください。

本体と付属品

- K17 R2R本体
- リモコン
- AC電源ケーブル
- クイックスタートガイド
- USBケーブル
- 保証書
- ヘッドホンアダプター (3.5mm to 6.3mm)